

2021年

1月

瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum

催物案内

瀬戸焼の総合ミュージアム。
やきもののみ瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)



企画展示室 「瀬戸の青磁～その始まりと展開～」

瀬戸では19世紀初頭前後に磁器生産が開始され、肥前の青磁生産開始から約200年後に青磁の生産が始まりました。江戸後期の瀬戸の青磁は伝世品や出土例もあまりなく、生産量は限られたものであったと推測されますが、明治時代に入ると、酸化クロムの使用が始まり、色彩豊かな絵付や他の釉薬との併用など、様々に装飾された「青磁」がつくられるようになりました。

今回の展示は瀬戸におけるこうした青磁への取り組みを、草創期の江戸後期から、明治・大正期までの作品を中心にご覧いただきます。



個人蔵
加藤空左衛門(二代)
青磁釉下彩花鳥図蓋付大師壺
19世紀後期

1月16日(土)～4月18日(日)まで

中央通りギャラリー 「瀬戸の風景 昔と今」

瀬戸市内の昔と今の写真約50点を展示します。

2月21日(日)まで

1月のイベント情報

1/22(金)～3/28(日) 千代紙のつるし飾り

2万枚の千代紙で折られた飾りや
折り鶴、くす玉などのつるし飾りが
ミュージアムの通りを彩ります♪



つるし飾りの中にひとつだけ
やきものがありますよ★
さがしてみてね♡



※画像は昨年のもになります



開館時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）
※令和2年4月1日から開館時間に変更となりました。
入館料：一般：520円、65歳以上・高校生・大学生：310円、
中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方：無料
年間パスポート：一般1570円、65歳以上・高大学生940円

1月25日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190

